

## 第 20 回 金融庁契約監視委員会の概要

1. 開催日時：平成 28 年 6 月 1 日（水）14 時 00 分～15 時 15 分
2. 開催場所：中央合同庁舎第 7 号館西館 9 階 共用第 3 会議室
3. 出席者：赤松委員長、石島委員、大村委員
4. 議題：平成 27 年度下半期に締結された契約について  
平成 27 年度下半期に締結した契約(56 件)のうち、各委員の抽出した案件について審議を行った。  
なお、前回同様、個別契約案件（下記(2)から(5)まで）の審議の前に、特定のテーマ（随意契約の理由、一者応札の状況及び落札率の状況）を抽出し審議を行った（下記(1)）。

### (1)平成 27 年度下半期における金融庁の契約状況等について

#### (1-1)随意契約の理由

2 案件について随意契約に至った理由

#### (1-2)一者応札の状況

- ① 複数年度にわたり一者応札及び落札率が 90%以上となっている 2 案件について、一者応札に至った理由及び改善策
- ② 一者応札改善の取組み
- ③ 公募への移行と価格交渉実施の検討

#### (1-3)落札率の状況

- ① 4 案件について落札率が 100%となった理由
- ② 7 案件について落札率が 50%となった理由
- ③ 高落札率ないしは低落札率となった主な原因等

### (2) 会議関係

- 「国際会議（ハイレベル会合）」に係る会場の借上げ

### (3) 運営委託関係

- 「銀行監督者セミナー」に係る運営業務

### (4) 調査業務関係

- 国際会計基準（IFRS）に基づく連結財務諸表及び四半期連結財務諸表開示例の作成に関する専門的知見の提供業務

### (5) システム関係

#### (5-1)セキュリティ

- メール誤送信防止機能の導入

#### (5-2)金融庁業務支援統合システム

- 決算状況表等に係るデータ検証作業等

#### (5-3) EDINET（有価証券報告書等電子開示システム）

- ① 次期システムに係る設計・開発業務
- ② Windows10 のリリースに伴う改修等

（参考）公認会計士試験の受験願書提出における受験料の電子納付のための電子申請汎用受付等システムの構築ならびに機器提供及び保守業務

5. 主な審議内容

(1) 平成 27 年度下半期における金融庁の契約状況等について

質問・意見	事務局からの説明
<p><u>(1-3) 落札率の状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・類似の調達案件について価格推移の状況を継続的に把握しているか。また、一般競争入札から公募への移行を検討する際にも、価格の推移に関する指標を採用できるよう工夫すればよいのではないか。</li> <li>・予定価格を決定する際は、2者から見積りを取得しているようであるが何故か。2者では少ないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に認識しているものはあるが、全ての契約案件について、網羅的かつシステムチックに把握していないため、今後の取組みの参考としたい。また、公募への移行を検討する際には、価格交渉において、直近の価格のみならず価格の推移といった観点も取り入れることとしたい。</li> <li>・通常、見積書を取得する際は3者以上に声掛けをしているが、結果的に参考見積書を提出した者は2者が多かったものと思われる。一般的に、見積書の数が多ければ、調達内容に対する見積り金額の妥当性の検証がしやすくなるため、引き続きより多くの者から取得できるよう努力していきたい。</li> </ul>

(2) 会議関係

質問・意見	事務局からの説明
<p><u>○「国際会議（ハイレベル会合）」に係る会場の借上げ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画競争による審査において、審査員の単純な平均点で評価してしまうと、例えばある1者のみが著しく高い評価をした場合、他の複数者の評価とは異なるにもかかわらず、最終評価が逆転してしまう可能性がある。そこで、審査員の人数を増やし、かつ、著しく高い評価をした者、及び、著しく低い評価をした者の評価については除外するといった方法を採用することはできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査委員の人数については、現在、3名から4名が標準的であるが、今後、5名あるいは6名に増加すること、また、評価方法については、著しく高い点数をつけた者、及び、著しく低い点数をつけた者、の2者の評価を除外することを今後の検討課題とし、「金融庁調達事務マニュアル」にも反映していきたいと考える。</li> </ul>

(3) 運営委託関係

質問・意見	事務局からの説明
<p>○「銀行監督者セミナー」に係る運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 参考見積りを提出したが応札に参加しなかった2者のうち、1者は同時期に他の案件等を抱えていたためとのことであるが、他の1者が入札に参加しなかった理由はなにか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入札に参加しなかった者は、参考見積りの提示の段階で、他者よりも2.5倍程度多額な価格を提示している。当庁ウェブサイトに掲載されている過去の情報を参考にすれば、概ね落札価格を予想することが可能であるところ、当該者は、実際の入札時においては、当該参考見積り価格では落札できないと認識し、入札への参加を辞退したものと推測される。</li></ul>

(4) 調査業務関係

質問・意見	事務局からの説明
特になし	

(5) システム関係

質問・意見	事務局からの説明
<p>(5-1) セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ メール誤送信防止機能について、全省庁でシステム共通化に関する考え方や計画はあるか。</li><li>・ 現時点でシステム共通化の計画がないものについて、必要となるセキュリティ機能の共通化の取組みは行われているか。</li><li>・ 時間は要するだろうが、将来的に共有フォルダやメールサーバー等のシステム共通化を進めてもらいたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在、政府共通プラットフォームへの移行に関する取組みが行われており、職員向け機能についても共通化が図られている。このうち、メール機能、共有フォルダについては各省庁で情報を保有していることから、現在は各省庁個別にソフトウェアを導入し対応している状況にある。</li><li>・ 内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）などが主導するかたちで、例えば機密性の区分に応じた全省庁的に定められたセキュリティ・政府統一基準があり、それらが各省庁の対応方針に反映されている。</li><li>・ 職員向け機能についてのシステム共通化を進めてまいりたい。</li></ul>

<p><u>(5-2) 金融庁業務支援統合システム</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常、業者の見積金額と契約金額には相違があるものと思われるが、本件において同一である理由如何。</li> </ul> <p><u>(5-3) EDINET(有価証券報告書等電子開示システム)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Windows10 のリリースに伴う改修等について、EDINET全体がWindows系のみで構築されていないのが入札手続への参加にあたってネックになったとの意見が業者からあったようだが、特殊あるいは対応が困難な技術が使われていたのか。</li> <li>・公認会計士試験の受験願書提出におけるシステム開発においては、オープンソースのOSが使われたということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本システムの開発等を担当した事業者より見積りを取得の上で、公募による調達手続を開始したが、当該事業者以外に応募者はいなかったことから、見積価格と契約金額が同一となったものである。</li> <li>・現行のEDINETを構築する際、ベンダーの参入しやすさを考えてオープンソースのOSであるLinuxを採用したが、中小のベンダーでは、Linuxでの開発よりも、世の中に利用者が多いWindows系での開発の方が得意、との意見があった。</li> <li>・OS及びデータベースソフトについて、いずれもオープンソースを使用し開発している。</li> </ul>
---	--

以上